

「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員が作成し、情報発信する機関誌です。

平成 29 年度、第 5 回目の保健師研修会を開催しました！

「統括等保健師研修会」

～統括保健師について知る！考える！～

平成 30 年 3 月 17 日（土）看護研修会館 3 階 大研修室にて開催

参加者 32 名

報告

①保健師職能委員会活動報告 保健師職能委員長 西原 洋子

②活動報告 大崎町劇団「ぼっけもん」の活動紹介
寸劇“家族にカンパイ！”～乳がん奮闘記～



平成 8 年結成。5 年前がん征圧推進大会で劇を行い「保健師魂をみた」との言葉をもらった！
「ぼっけもん」の劇団員の皆さんの鹿児島弁の熱演と、家族の支えで病気を乗り越える主人公の姿に、笑いあり涙ありで感動しました。がん検診受診の大切さも再認識しました。

講話「統括保健師って？～県保健師・産業保健師の歩みから～」

講師：公益財団法人鹿児島県民総合保健センター理事 新塘 久美子氏



- H25 年 3 月に県保健師を退職し、6 月に県民総合保健センターに入職したが、保健師に元気がなく、職場内で「保健師は何をしているか分からない」という声があった。
- 入職 2 年目に健康増進部を新設し、保健師の集中配置を行った。保健師間で顔の見える関係作りができ、業務に時間的・精神的余裕がうまれた。
- 市場競争が激化する中、市町村との信頼関係構築のため市町村・事業所の担当制を導入し、機能しだした。
- やり方だけでなく、背景や流れを教える。意識した人材育成が必要。

＊講師の思う「統括保健師」像＊

- ①自信：自信をもてば“ぶれない”（信念・根拠を押さえて仕事をする）
- ②覚悟（腹をくくる）：覚悟があるものが言える。
- ③決断力：曖昧なままにしない、迷っていることも含め伝え、決断する時はする。

報告 ①人材育成ガイドラインチェックリストの報告及び研修報告

保健医療福祉課技術補佐 久保倫子氏

②平成 29 年度市町村保健師管理者能力育成研修復命

南部保健センター健康増進係長 前野律江氏

③平成 28 年度実施の「地区担当制等に関する調査」報告

鹿児島県保健師長会会長 今村 恵氏

グループワーク

テーマ「保健師業務の中で考える地区担当制と
統括等保健師の役割について」

5グループに分かれて、話し合いを行いました。



- ・家族まるごとの視点、個から地域への展開が大切。
- ・統括保健師を支える関係づくりの検討も必要。
- ・地区担当制は、個別支援が家族単位でできるメリットがある。
- ・事業をまとめ発表することで、共有・課題の確認ができる。
- ・家族から地域を見れる人材育成の必要性。
- ・地区診断を事業にいかすことが大事。



次回研修会のお知らせ 平成 30 年 6 月 29 日 (金)

「保健師による地域包括ケア推進」 ～保健師のための地域包括ケア実践講座～

講師：樋口千恵子氏 (NPO 法人たんがく理事長)